

町内の作家浅井和昭氏の4作をご紹介します。



浅井 和昭 (あさいかずあき) 氏

1941年 愛媛県生まれ

現在は山梨県南部町本郷 在住

寄贈【越後上布 雪ざらし】
ありがとうございました。

※ 「越後上布」とは苧麻（ちょま、カラムシ）という植物から作られる麻織物

※ 「雪ざらし」とは麻織物を平らな雪の上に干し漂白する工程のこと

浅井氏のこれまでの作品

「あやとり」…自分の運命を受け入れ、新たな気持ちで歩いていく女性たち。
(短編集) 大人の恋愛感情を巧に描きだした珠玉の短編集。

「酔芙蓉」…女性たちの恋愛感情が季節感あふれる酔芙蓉の花のごとく、美しく、優しく描かれている。

「扇腹」…正義が闇に葬り去られるのをよしとせず。心得『葉隠』に殉じた武士の死に様を描く。

「越後上布」…雪ざらしを通して、様々な理由で傷ついた人達がふれあい、新たな人生設計をしていく、愛と再生の物語
【心の中の傷跡に越後の雪が優しく降り積もる】

浅井氏のコメント

「人にとって、大事なものは心の豊かさです。現代は多くの便利さに囲まれて、経済的に豊かだと思います。しかし、最近のニュースを見ていると、心の豊かさが欠如しているように思います。私の書籍を通じて、少しでも多くの人が感動したり、人との触れ合いの大切さを感じ取ってくれればと思います。」



浅井氏の描く感動作。「越後上布 雪ざらし」は4作目の作品です。

興味を持たれた方は、是非ご一読ください。

